

2017年度（平成29年度）自己評価

本校は、学校教育法および同施行規則に則り学校評価制度を制定し、文部科学省が定める「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って「学校評価」を実施しております。「学校評価」を実施するに当たり、最初のステップとして基礎的な資料を得るために毎年2月に生徒及び保護者へのアンケート調査を行っています。アンケート結果を踏まえて自己評価を実施しています。自己評価につきましては、学校評価委員会で議論し、教育活動の一層の向上につなげるよう努力しております。

前年度[2016年4月～2017年3月]の学校運営・教育活動等について教職員による自己評価を下記に公表致します。

関西外語専門学校 国際高等課程
学校長 花畑 好一

1. 本校の教育目標、教育方針

「生きた英語力」を身につけて国際舞台で活躍できる「真の国際人」を育成することが本校の教育目標です。このためには、グローバル化社会の中で、幅広い教養と自分の考えをもって主体的に生きることができるよう教育を施しています。なお、この教育方針の背後には、生徒を1人の人間として大切に育むという、法人全体の教育理念「血の通った教育の場」が脈々と流れています。

具体的な教育方針は次の通りです。

- 1) 「生きた英語力」を研ぐため、授業の中でできるだけ多く英語を使用する。
- 2) 国際力を研ぎグローバル社会に通用するよう育むため、日本人教員に加え、諸外国の教員による授業を実施することで、国際理解を深め、多様な考え方や価値観に触れさせて、多様性を受容する広くて柔軟な心を育む。
- 3) 少人数授業を大切にし、ディスカッションやプレゼンテーションなどの参加型教育（アクティブ・ラーニング）を授業に取り入れ、自ら学ぶ姿勢、自分で考える姿勢を育成する。
- 4) 将来進路に備える基本的な学力・教養教育を大切にする。
- 5) 個性と自由を尊重すると同時に、グループ・集団で活動できるよう規律、協調、コミュニケーションを大切にし、互いに認め合い協力する姿勢を涵養する。

2. 2016年度（平成28年度）の重点的な取組事項

1) 生徒数増への対応・少人数教育の堅持

全校生徒数は140名程度で、前年度に引き続きほぼ過去最多の生徒数となった。このため前年度同様、1クラスの生徒数20名程度の少人数教育を堅持し、全学年で7クラス（HR）体制で運営した。

2) 英語レベルについて6レベル展開を維持、レベルのクラス数を調整

英語レベルについては、昨年度に引き続き6レベル展開で授業を行った。1クラス15名程度の生徒数を維持し、生徒の英語力に合ったクラスで授業を受けることができるよう、計9クラスで運営し、各レベルのクラス数についても生徒の英語力に応じて調整した。

3) 3年生生徒数大幅増に対応する受験指導

3年生3クラス(60名)体制となり、前年度30名から倍増する生徒数に対応できるよう進路指導・受験指導について受験科目開講など授業面・人事面での対策を行った。

4) 学年間交流・生徒会活動の促進

本校の伝統であるアットホームな校風及び学年間交流が生徒数増により損なわれないよう、前年度に引き続き生徒会活動を促進した。一例として、ハロウィーン・フェスティバルを生徒会が主体的に活動できるように指導した。

5) 模擬国連への取り組み

「真の国際人」育成教育は、英語で国際問題を議論し解決を図る模擬国連大会での活躍が集大成となっており、3年生全員が参加できるように一昨年に立ち上げた本校主催の模擬国連大阪の規模を拡大し実施した。

6) 研修旅行・ホームステイ

1・3年生はベトナム研修旅行、2年生はオーストラリアでのホームステイを実施し、貴重な海外経験を積むことができた。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標など

	評 価 項 目	評価
教育理念 目標など	教育理念が定められているか	4
	教育目標が明確にされているか	4
	教育目標は社会のニーズに適しているか	4
	教育目標や方針は生徒・保護者・社会に周知されているか	4
	教育方針は教育目標を実現する適切なものとなっているか	4
	社会のニーズを踏まえた将来構想が描けているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

昨年は経済・金融・社会のグローバル化の波に対抗し、イギリスのEU離脱やアメリカ大統領選で「自国第一主義」を掲げた候補者が当選するなど、グローバル化への反動が目立つ年となった。しかし、見方を変えれば、グローバル化が猛烈な勢いで進んでいることの証左であり、日本も例外ではない。勢いを増すグローバル化の中で国際共通言語としての英語の必要性はますます高くないっている。

時代に対応するため文部科学省も高校の英語教育改善に取り組んでいる。しかしほとんどの高校では実践的英語教育とはほど遠い状況で、まだまだ「大学受験英語」から脱却できていない。本校は専修学校高等課程という強みを活かして、カリキュ

ラムを柔軟に編成し、思い切った「生きた英語」教育、国際教育を実施しており、本校の教育方針は、時代の先端を行くものとして評価できると考えている。

本校の課題としては、学内のグローバル化がある。教職員は、日本人教員の多くは国際経験を積んでおり、多くの外国人の教員が教育活動に従事しているという点でグローバル化・多国籍化が進んでいる。一方、生徒については、外国籍の生徒が一部にとどまっており、帰国生・帰国子女の比率が一般の高校に比べるとはるかに高いと言えども、生徒の多くが日本人となっている。この現状を改善するため、英語が得意で日本語は不十分な生徒用のコース（仮称：日本語指導コース）開設が課題となっている。

(2) 学校運営

	評 価 項 目	評価
学校運営	教育目標に沿った運営方針が策定されているか	4
	事業計画・中期計画に沿った運営が実施されているか	4
	適正な教育活動を実施するため、職員会議は定期的に実施されているか、また、有効に機能しているか	4
	人事・財務などの意志決定組織は整備されているか	4
	地域社会等へのコンプライアンス体制が整備されているか	4
	教育活動に関する情報公開は適切になされているか	4
	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

日本社会のグローバル化の進行、「生きた英語」の必要性に対応する形で、運営方針・事業計画・中期計画は教育目標に沿って策定している。

職員会議は原則、週1回実施しており、教職員が学校運営や教育活動に円滑に携わることができるように情報の共有化を図り、諸事項を調整の上、意思決定している。

諸規程については法人全体に関わる規定は法人本部及び総務部が管轄管理し、本校教育にかかわる規程については本校で案を策定し、理事長等の上部機関の承認を経て決定されている。規程策定においても日常の学校運営においてもコンプライアンスには常に留意している。

情報公開については、ホームページ、学校案内・募集要項などの印刷物において適宜行っている。

なお、生徒増・クラス数増に対応する情報システム化、事務の効率化は順次進めている。iPad 端末による出席管理システムは2015年度当初より導入し、生徒数・クラス数増に対応した。導入2年目となり、多少の不具合が発生したが、基本的には順調に運用している。

(3) 教育活動

	評 価 項 目	評価
教育活動	教育目標に沿ってカリキュラムが編成されているか	4
	専修学校設置基準や教育目標に沿った授業時数や学習時間が確保されているか	4
	カリキュラムは体系的に編成されているか	4
	カリキュラムは時代の変化や現実社会の必要に対応しているか	4

授業計画及び内容は、現実社会との関連したものとなっているか	4
少人数授業は堅持されているか	4
授業の多くは、参加型授業（アクティブ・ラーニング）となっているか	4
「生きた英語」教育は施されているか	4
国際教育は施されているか	4
模擬国連の指導は実施されているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
海外研修・ホームステイなどの国際交流プログラムは計画・実施されているか	4
情報教育は実施されているか	3
衛生・保健教育は実施されているか	2

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

カリキュラム編成は、本校教育の最重要事項のひとつとして、検討・改善を重ねている。「生きた英語」教育、国際教育は、各教科の基本事項を押さえつつ、現実社会との関連を強く意識して授業を実施している。

授業方法も、教員が一方向的に知識を教える従来の高校における教授法（講義型授業）でなく、生徒が自ら考え発言する授業、即ちディスカッション・プレゼンテーションを取り入れた少人数参加型授業（アクティブ・ラーニング）を実施しており、生徒アンケートでも「授業が楽しい。」と答える生徒が多く、8割を超える生徒が「授業のおかげで、この社会やいろんなことに興味を抱くようになった。」と答えている。また、8割程度の生徒が「授業は自分にとって有意義で、多くのことを学んでいる。」「世界のことや国際的なことをこの1年でたくさん学んだ。」と答えている。

なお、教育効果を高めるためホームルームクラスをベースとしつつ、習熟度別クラス編成による英語授業、選択制集中授業を実施しているが、その背後には複雑で膨大な出席・成績事務が発生していることも付記しておきたい。

模擬国連においても、生徒たちの活躍度は毎年向上しており、教員の指導と生徒の取り組みの結果であると評価している。3年生20名選抜で参加する関西高校模擬国連大会に加え、3年生全員が参加する第2回模擬国連大阪を本校主催で実施した。本校生徒が議長・秘書・ブロックリーダーを務め、会議をリードし、「難民問題」を議論した。大阪を中心に関西圏10校、220名の生徒が参加し、一昨年の7校129名からほぼ倍増した。このため、委員会（Commission）を2つ設け、指導した。

ベトナム研修旅行では、戦争戦跡博物館・クチトンネル訪問、枯葉剤の影響で結合双生児として生まれたドクさんの講演会によりベトナム戦争の悲惨な状況を直接見聞きし平和学習に資した。また、ホーチミン市内のレホンフォン高校を訪問し、学校としての交流、生徒個人としての交流、そして班毎の市内観光による国際交流を行った。この交流の際、英語を使用できたことも貴重な体験となった。また、発展途上にあるベトナムの活力や生活、独自の文化や食事、ジャングルクルーズなども体験ができ、意義のある研修旅行となった。

オーストラリア・ホームステイは従来1年生を対象に実施していたが、2年生の方が英語力や国際力、活動力、主体性などが伸びている点を考慮し、費用対効果を考えて実施学年を変更した。実際のところ、クラスメイトとの人間関係を築いた状態で実施できたので、不安なく諸プログラムに取り組むことができた。英語の授業もスムーズに馴染むことができ、前向きに受けることができた。

なお、情報教育は入学時に集中授業形式で実施し、保健・衛生教育については、1年生を対象に専門の先生を外部より招いて実施した。

(4) 生徒指導・進路指導

生徒指導 進路指導	評 価 項 目	評価
	基本的な生活習慣の確立のための取組が行われているか	4
	基本的な学習姿勢の確立のための取組が行われているか	4
	生徒・保護者からの相談体制は整備されているか	4
	いじめ防止対策が施されているか	4
	学校の秩序を維持するための取組が行われているか	4
	進路説明会や進路のための情報提供は行われているか	4
	大学受験模試は実施されているか	4
	進路のための生徒面談は行われているか	4
	進路のための三者面談は行われているか	4
	受験対策指導は行われているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

昨年度の大きな改訂事項としては1限の授業開始前に朝礼を導入し、担任が朝一番で生徒の登校状況を把握し、当日の連絡事項を確認できるようにした。授業は1日7時間授業(9:10~16:10)を実施しており、一定量の宿題が常に課され、予習復習を基本とする教育を施しており、概してほとんどの生徒が基本的な生活習慣・学習習慣を確立していると評価できる。但し、思春期の特徴でもあるが、中にはサポートや指導を必要とする生徒もおり、クラス担任を中心に対応している。状況により保護者の協力を得ながら臨床心理士によるカウンセリングも実施している。なお、個別ケースに幅広く対応できるよう教職員も研鑽を積む必要があり、経験を深めると同時に研修の充実が待たれる。いじめ防止対策については少人数クラスの特性を活かし教職員が生徒の様子に目を配り、早期発見・早期対策に努めている。

進路指導においては、少人数教育の特徴を活かして、生徒個人の方向性に対応するため、生徒面談、三者面談など1人当たりの生徒に相当の時間をかけて指導しており評価できる。進路に関する情報提供においては、毎年、大学の教職員を招いて分野別説明会を実施し、ホームルーム等を利用して将来進路について考える取り組みを行っている。なお、春休みや夏休みには大学・専門学校等のオープンキャンパスに積極的に参加するよう指導している。また、天王寺という地の利を活かし、授業終了後に近隣施設で実施される進学イベント参加も促している。大学・専門学校などに赴いて自分の目で実際の校舎やキャンパスを確認することは極めて重要であり、更に指導を強化していきたい。

(5) 特別活動等

特別活動 等	評 価 項 目	評価
	新入生歓迎プログラムがあるか	4
	生徒交流活動が実施されているか	4
	伝統文化活動は実施されているか	4
	スポーツデーなどの課外活動は実施されているか	4
	防災教育・訓練は実施されているか	4
	学外での国際交流は実施されているか	4

	生徒会は機能しているか	4
	卒業生を祝福するイベントは実施されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

アットホームな校風を維持し、学年を超えた生徒間交流を促進する努力は課外活動を中心に行っている。新入生歓迎プログラムとしては、入学式後に新入生歓迎会を実施した。また、学年を超えた交流のために5月1日に生徒会の企画・運営により舞洲アリーナで交流イベントおよびスポーツデーを実施した。

国際人とは、世界のことを知るばかりでなく、自国（日本）を知り「自国（日本）を語れる人」である。このため、伝統文化活動は毎年実施し、日本の伝統文化を体験させている。2016年度は6月24日に山本能楽堂で能体験・能鑑賞を実施した。また、生徒間交流、協調・協力マインドや主体性及び活動力を育むため、10月末には生徒会が主催し阿倍野区民センター小ホールでハロウィーン・パーティーを実施した。このイベントは生徒たちが自ら積極的に企画・実行した。生徒会役員が中心になって全校生徒を巻き込みながら主体的に活動したことを評価している。

なお、一部の生徒については大阪グローバル塾による短期留学で活躍し国際力を育むことができたことは評価している。多くの高校生の中で本校生徒がリーダーシップを発揮していると大阪グローバル塾より評価が届いていることを申し添えたい。

(6) 学修成果

	評 価 項 目	評価
学修成果	英検の合格状況はどうか	4
	TOEIC スコアはどうか	4
	漢検の合格状況はどうか	3
	英語偏差値は伸びているか	4
	大学等への進学状況は希望に合致しているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

過去7年間の卒業生の実績詳細は学校案内に記載している。英検では85%の卒業生が2級・準1級・1級に合格している（準1級・1級では21%）。2016年度単年度の実績としては、準1級に12名（3年7名、2年1名、1年4名）、2級には26名（3年6名、2年10名、1年10名）、準2級には14名（3年生1名、2年生4名、1年生9名）が合格した。漢検では、帰国生も多いため生徒の希望する級を受けることができるよう配慮している。準2級に8名、3級に11名合格し、下位級にも5名が合格した。

TOEICでは卒業時に67%が500点以上のスコア、600点以上は46%、700点以上は29%となっており、高校生としては非常に優れた成績を修めていると評価している。英検で2級に合格してもTOEICでは400点台にとどまっている生徒もあり、TOEICスコアが伸びるよう更に努力していきたい。なお、進路についてはほぼすべての生徒が希望進路を実現できた。

(7) 生徒支援・学費・奨学金

	評 価 項 目	評価
生徒支援	就学支援金の紹介や受給手続きはできているか	4
	大阪府授業料支援補助金の紹介や受給手続きはできているか	4
	大阪府育英会の紹介や受給手続きはできているか	4

	日本学生支援機構・事前奨学金の紹介や受給手続きはできているか	4
	その他の奨学金等の紹介や受給支援はできているか	4
	保護者との連携はできているか	4
	担任教員等による生徒支援はできているか	4
	臨床心理士による生徒支援はできているか	4
	卒業生への支援体制はあるか	3

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

就学支援金、大阪府授業料支援補助金は本校ホームページ上の「関係者専用ページ」でも随時案内（更新）している。また、学校でもオリエンテーション段階より説明する機会を設け、受給手続きについても適格に実施していると評価している。なお、所得など条件により受給金額が異なる複雑な制度であるため、プロジェクターを使って視覚でもわかるように説明しており、保護者からの問い合わせにも大阪府に相談しながら的確に対応している。保護者との連携についてはPTSA総会（年4回実施）を実施し、担任教員を囲んでの食事会や授業参観、分野別進路説明会など教育活動を保護者に理解していただける機会を設けている。また、必要に応じて担任教員より保護者に連絡し、保護者の協力を得つつ指導できるよう努めている。高校生活を支援するため臨床心理士による面談を全校生徒対象に実施した。なお、卒業生支援については、大学編入時など受験支援は行っている。ただし、校友会・同窓会組織の立ち上げが課題として残っている。

(8) 教育環境

	評 価 項 目	評価
教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
	防犯・防災に対する体制は整備されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

施設・設備について、2014年後期より別館（全面的に耐震補強及び内装外装を施し新築に近い仕様の校舎）を使用しており、少人数授業に適した教室数を十分確保でき、学年単位で授業や諸活動ができる大教室も確保している。各階に防犯カメラを設置しており、校舎入口に受付を設けて外部侵入を防いでいる。守衛が校舎を巡回することで生徒の安全管理に努めている。安易なネット使用による危険に備えるため、夏休み前には阿倍野警察の協力を得て青少年担当警官による防犯講習を実施した。万が一の場合に備えて避難訓練・防災訓練は毎年実施しているが、2016年度は阿倍野防災センターで防災講習を実施した。

(9) 生徒の受入れ募集

	評 価 項 目	評価
生徒受入 募 集	中学校等接続する機関に対する情報提供等の取組は行われているか	4
	ホームページでの情報提供は行われているか	4
	学校案内・募集要項等の印刷物での情報提供は行われているか	4
	オープンキャンパスでの情報提供は行われているか	4
	生徒募集活動において、資格取得・進学状況等の情報は正確に伝えられているか	4

	生徒納付金は妥当なものとなっているか	4
	オリエンテーションは実施されているか	4
	入学前学習は実施されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

大阪府及び近隣府県の中学校への情報提供については、学校案内・募集要項・進路（教育）実績レポート・入試合格状況など送付している。また、受験する可能性のある生徒については、在籍中学校を訪問して教育方針や指導方針、教育の概要、入試などについて伝えている。但し、教職員数の制約上、網羅する形で中学校を訪問しての情報提供はできていない。

なお、一般的な情報提供としてはホームページ充実による情報提供に取り組んでいる。帰国生受け入れ中高大を定期的取材している外部帰国生団体より、本校ホームページは教育の趣旨や方針、特徴などを詳細かつ的確に掲載していると評価されている。学校案内・募集要項等の紙媒体、オープンキャンパスでの説明により受験・入学までに理解していただけるよう取り組んでいる。また、ホームページ・ブログ欄で教育活動や英検等合格状況の最新情報の掲載に取り組んでいる。ブログ記事も頻繁にアップし、教育への取り組みを公開している。

なお、3月末に実施している新入生オリエンテーションとは別に各入試の合格発表後に合格者オリエンテーションや学習交流会を実施しており、入学前までに事前学習ができるよう工夫している。

(10) 財務

	評 価 項 目	評価
財 務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
	財務・決算書類において会計監査は適正に行われているか	4
	財務状況は適正に公開されているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

学費値上げを抑制しつつ少人数授業を維持することは学校経営にとって決して容易でないが、適正に収支バランスを取ることに取り組んでいる。教育環境を改善するための財源を得ることが課題となっている。将来展望をもって成長できるように中期計画に則った単年度計画の実現及び中長期的な財政基盤安定に努めている。なお、財務諸表はホームページ上に公開している。

(11) 法令等の遵守

	評 価 項 目	評価
法令等の 遵守	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
	自己評価結果を公開しているか	4
	学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
	学校関係者評価を公開しているか	4

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

学校運営や教育活動は、適正な学内手続きを経て実施しており、法令・規程順守には常に留意しており、チェック機能が有効に働いていると評価できる。個人情報保護にも細心の注意を払っている。また、自己評価・学校関係者評価は学校運営や教育活動を振り返り、改善していく良い機会と考えている。

(12) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
社会貢献	英語教育資源を活用した中学校教員への支援	4
	英語教育資源を活用した中学生への支援	4
地域貢献	地域に対する公開講座	1
	生徒にボランティア活動を奨励、支援しているか	3

【評価 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切】

コメント・課題・改善事項

本校の教育力（外国人教員による英語教育力）を活用して中学校の英語教育力向上に資するように、毎年、英語教員を対象に英語研修プログラム（Brush Up Lesson）を開講している。また、中学生を対象に英語によるコミュニケーション力向上講座を実施している。但し、現在の教職員体制では、地域住民に対して公開講座を開設する余裕がないが、教職員組織が拡充すれば将来的に公開講座開催も検討していきたい。なお、ボランティア活動についても生徒の希望に応じ個別で対応しているが、現状では生徒全員を対象とした取組みについては課題として残っている。

以上

【2017年度学校関係者評価】

学校評価に関する本校規程に従い、2017年9月16日に2016年度の学校運営・教育活動に関する学校関係者評価委員会を実施しました。教職員9名、外部有識者1名及び保護者代表（PTSA 役員）6名の計16名が出席し、「2017年度（平成29年度）自己評価」について検討しました。自由な雰囲気の中で議事が順次進められ貴重な意見が多数出されました。学校関係者評価委員会での議論を以下にまとめ公表させていただきます。

関西インターナショナルハイスクール
（関西外語専門学校 国際高等課程）
学校関係者評価委員会委員長
花畑 好一

学校関係者評価委員会 2017年9月16日（土）12:00～14:30 本校214号教室で実施
出席した学校関係者評価委員 計16名

教職員 9名（校長、国際高等課程長、各学年担任6名、事務局職員）

外部有識者 1名（関西外国語大学元教授、大阪府立高校元英語科教諭・校長）

保護者代表 6名

事前送付資料 1) 2017年度（平成29年度）自己評価

2) 平成28年度（2016年度）KIHS 学校診断アンケート結果

学校関係者評価委員会の趣旨及び教育目標、教育方針、2016年度の重点的な取組事項についての概要説明があり、報告・質疑応答及び議論が始められた。なお、委員会の冒頭、次の事項を共有・確認した。

1. 教育理念・目標

「生きた英語力」を身につけて国際舞台で活躍できる「真の国際人」を育成するために次の点に重きをおいて教育を実施している。

- 1) 「生きた英語力」を研ぐこと
- 2) 国際力を研ぎグローバル社会に通用する人材を育むこと
- 3) 少人数授業を大切にアクティブ・ラーニングを実施すること
- 4) 将来進路に備える基本的な学力・教養教育を大切にすること
- 5) 個性と自由を尊重するとともに規律も重んじること

2. 2016年度（平成28年度）の重点的な取組事項

生徒数が過去最多となった2015年度に引き続き2016年度もほぼ同数の生徒数となったが、重点的な取組事項は次の通りである。

- 1) 生徒数増への対応・少人数教育の維持
- 2) 英語レベルについて6レベル展開を維持し、各レベルのクラス数を調整（計9クラス）
- 3) 3年生生徒数大幅増に対応する進路指導
- 4) 学年間交流・生徒会活動の促進

5) 模擬国連への取り組み

6) 研修旅行・ホームステイの実施

なお、模擬国連大阪の参加校に関する質問があり、本校以外に大阪・京都・奈良・岡山・広島各府県の有名高校9校が参加していることが報告された。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況について多くの時間を費やして議論した。なお、議事進行上の時間的な制約から事前送付資料に目を通していただくことを前提に評価項目を取り上げた。

(1) (2) 教育理念・目標、学校運営に関する自己評価は概ね妥当であることが確認された。

(3) 教育活動

外部有識者より今年6月に行った授業見学の様子が報告された。約4時間に亘り英語レベル別授業6クラス、学年別クラス3クラス、計9クラスの授業を行ったが、実際に授業を見学したところ、本校に対する評価が大きく変わったことが報告された。主要点は次の通りである。

- ・外部有識者にも笑顔であいさつや言葉を交わす快活な生徒が目立ったこと
- ・一般高校に通う生徒たちとは随分違い、授業への参加態度が積極的であること
- ・その例として、英語レベル1「読解」の授業は、一般高校で使う教材・内容が同じであるにもかかわらず、生徒が積極的に質問し、自分が納得できるまで英文法を学ぼうとしていたこと
- ・外国人教員の英語・公民・科学の授業では、英語の上手下手は別にして気楽に英語で質疑応答しながら参加していたこと
- ・生徒たちは英語力向上に前向きに打ち込んでいること

(以上の内容は教育雑誌『教育 PRO』の「究極の英語学習法」物語 第151回「英語熱」再考③に掲載されており、委員間での共通理解のため記事の写しが配布された)

- ・教員の並々ならぬ努力・熱意を感じたこと
- ・一般の高校とは異なり、習った文法知識を使って実践的に英語を使う機会が多くあり文法を応用することができる教育環境があること

これに対し英語レベル1「読解」授業担当教員より生徒たちは見学に来られたからと言って態度を変えることがないため、普段通りの生徒の様子を見てもらえたと思っており、生徒たちは分からない点があれば積極的に質問することが報告された。

保護者の委員より次のコメントや感想があった。

- ・外国人教員の英語授業を参観した際、詳しい授業内容は理解できなかったが、生徒たちがアクティブに参加する活発な授業が行われており、気付いたら授業が終了していたほど楽しい雰囲気での授業であったこと
- ・入学時は外国人教員の英語を聞き取れないと言っていたが、3年生になり英語で随分コミュニケーションが取れるようになったこと。CDで流される英語の聴解には集中力が途切れることがあるが、「生きた英語」が飛び交う環境に

慣れているから起こってくるのだと思っていること。

- ・子どもに英語の理解状況について質問すると不明確な答えが返って来るが、日常的に映画やスマートホンで英語に触れている様子を見ていると英語に親しんでいることが分かること。
- ・国際問題やニュースに興味を持つようになり家庭内でも意見を言うことがあり、視野が大きく広がったように感じる。教員との距離が近く、受け身ではなく能動的に学んでいる様子が感じられること。
- ・従来1年次に実施していたオーストラリア・ホームステイを2年次に変更したことで、現地でのコミュニケーション能力が格段に向上したこと（1年次であれば英語であまりコミュニケーションができなかったかもしれないこと）。
- ・兄弟が公立高校に進学しており、公立高校と KIHS のそれぞれに良さがあること。
- ・成功体験も大切だが、“頭でっかち”にならないように挫折体験も大切であること。

以上のような意見や感想を分かち合い、教育活動に関する自己評価は概ね妥当であることが確認された。

(4) 生徒指導・進路指導

生徒指導・進路指導の実態について担当教員より説明があった。進路指導については、入試形態はAO入試、推薦入試、一般入試に大きく分かれており、AO入試希望者にはそれぞれの特性を引き出し受験対策できるように個々に対応しており、一次試験（筆記試験）を突破した生徒には面接対策も実施していることが報告された。一般入試希望者で自宅学習が難しい生徒は学校で勉強するように指導していることも報告された。生徒指導については対象となる生徒は少ないが、頭髪や服装で気になる生徒が中にいるため指導している旨の報告があった。いじめについては把握している具体事象はないが、SNSの使い方には注意を払っており、折に触れて講習会を実施している旨の報告があった。

なお、保護者から次の意見・コメントがあった。

- ・大阪市内のある私立高校の生徒の歩きスマホが常態化しているため迷惑しており、且つ危険である。KIHSでの歩きスマホの実態は分からないが、注意喚起してほしい。
- ・進路指導に関して、あまり発言するタイプでない子どもが大学のオープンキャンパスでの外国人教員の授業で一般の高校生が答えられない中、積極的に発言していた。この経験から子どもは自分の成長を感じて喜んでいた。KIHSの中にいると気づかないが、外部に出ると知らず知らずのうちに実力がついていくことが分かる。

外部有識者より次の意見・コメントがあった。

- ・生徒・保護者アンケートの集計結果でプラスの評価が多いが、マイナスの評価をしている人もいるので学校はマイナスの評価をしている人にも留意すべきである。学校に馴染んでいる2・3年生に比べ、1年生は「分からない」の比率が高い傾向があることはやむを得ないが、指導を点検して生徒の悩み

や思いにしっかり耳を傾けてほしい。

- ・風紀面での指導については注意だけでなく生徒が自ら気づくような指導やムード作りをしてほしい。
- ・卒業時に英検 2 級にほとんどの生徒が合格していることは素晴らしい。英語力向上には更に励んでほしい。
- ・外国の大学・大学院への進学のために推薦状を依頼されることがある。外国の大学進学には英語力だけでなく、特技、経験、ボランティア活動などの社会貢献が重視される。このため高校時代に多様な経験をさせてほしい。そうすれば海外の大学への進学だけでなく、国内大学の AO 入試や就職試験にも役立つ。

以上のような発言や議論があり、生徒指導・進路指導に関する自己評価は概ね妥当であることが確認された。

(5) 課外活動等

海外研修旅行やハロウィン・パーティなどの実施状況の説明があり、質疑応答があった。課外活動実施には教員に相当の負荷がかかるにもかかわらず継続して実施していることを評価する声もあり、自己評価は概ね妥当であることが確認された。

(6) 学修成果

英検・TOEIC における成果報告があった。英検では卒業時に 21%が英検準 1 級以上に合格、85%が 2 級以上に合格していること、TOEIC では 67%が 500 点以上のスコア、46%が 600 点以上のスコアを出していることが報告された。なお、3 年生は学校で実施する TOEIC(IP)の実施時期が定期試験の翌日であるため、TOEIC 向けの勉強がしづらい日程であるとの意見が出された。これに対し、学校実施の TOEIC は現状の英語力を把握することで勉学への動機付けのために実施している旨の説明があった。英語力向上には第一言語である国語力向上の重要性についても確認し、自己評価は概ね妥当であることが確認された。

(7) 生徒支援・学費・奨学金

(8) 教育環境

(9) 生徒の受入れ募集

(10) 財務

(11) 法令等の遵守

(12) 社会貢献・地域貢献

(7) 以降の各項目についても自己評価は概ね妥当であることが確認された。

以上

No.	質問内容		よく	やや	あまり	まったく	わからない
			あてはまる	あてはまる	当てはまらない	当てはまらない	(判断できない)
1	KIHSを志願した際、日本(社会)のグローバル化を意識した。						
		3年	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%
		2年	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%	0.0%
		1年	39.3%	35.7%	25.0%	0.0%	0.0%
	計	43.7%	44.1%	12.2%	0.0%	0.0%	
2	KIHSを志願した際、「生きた英語」の必要性を意識した。						
		3年	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		2年	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		1年	75.0%	17.9%	7.1%	0.0%	0.0%
	計	59.4%	38.2%	2.4%	0.0%	0.0%	
3	KIHSの方針や教育活動全般について保護者として賛同している。						
		3年	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%	0.0%
		2年	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%
		1年	42.9%	42.9%	10.7%	0.0%	3.6%
	計	47.6%	42.1%	5.8%	0.0%	4.5%	
4	KIHSに子どもを入学させてよかったと思う。						
		3年	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		2年	75.0%	15.0%	0.0%	0.0%	10.0%
		1年	39.3%	42.9%	10.7%	0.0%	7.1%
	計	60.3%	30.4%	3.6%	0.0%	5.7%	
5	KIHSの教職員は生徒の気持ちや思いをよく理解してくれるようだ。						
		3年	33.3%	53.3%	6.7%	6.7%	0.0%
		2年	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%
		1年	33.3%	40.7%	14.8%	3.7%	7.4%
	計	43.9%	41.4%	8.8%	3.5%	2.5%	
6	KIHSの教職員は生徒をよく叱咤激励しているようだ。						
		3年	40.0%	40.0%	13.3%	0.0%	6.7%
		2年	50.0%	35.0%	5.0%	0.0%	10.0%
		1年	21.4%	39.3%	21.4%	0.0%	17.9%
	計	37.1%	38.1%	13.3%	0.0%	11.5%	
7	KIHSで有意義な高校生活を送っているようだ。						
		3年	53.3%	33.3%	13.3%	0.0%	0.0%
		2年	55.0%	30.0%	5.0%	0.0%	10.0%
		1年	42.9%	35.7%	17.9%	3.6%	0.0%
	計	50.4%	33.0%	12.1%	1.2%	3.3%	
8	授業は楽しいようだ。						
		3年	26.7%	60.0%	13.3%	0.0%	0.0%
		2年	50.0%	25.0%	10.0%	0.0%	15.0%
		1年	39.3%	39.3%	17.9%	0.0%	3.6%
	計	38.7%	41.4%	13.7%	0.0%	6.2%	
9	有意義な授業が多く、多くのことを学んでいるようだ。						
		3年	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%	0.0%
		2年	65.0%	30.0%	0.0%	0.0%	5.0%
		1年	39.3%	42.9%	14.3%	0.0%	3.6%
	計	50.3%	39.8%	7.0%	0.0%	2.9%	
10	KIHSに入学してから英語力は向上したようだ。						
		3年	40.0%	46.7%	6.7%	6.7%	0.0%
		2年	35.0%	45.0%	10.0%	0.0%	10.0%
		1年	50.0%	32.1%	7.1%	3.6%	7.1%
	計	41.7%	41.3%	7.9%	3.4%	5.7%	
11	外国人の先生の授業では、英語で発言しているようだ。						
		3年	33.3%	40.0%	20.0%	0.0%	6.7%
		2年	20.0%	45.0%	0.0%	5.0%	30.0%
		1年	50.0%	17.9%	3.6%	0.0%	28.6%
	計	34.4%	34.3%	7.9%	1.7%	21.7%	
12	授業で分からない点があれば、後で先生に個人的に質問できるようだ。						
		3年	13.3%	46.7%	13.3%	13.3%	13.3%
		2年	20.0%	35.0%	15.0%	15.0%	15.0%
		1年	39.3%	32.1%	17.9%	3.6%	7.1%
	計	24.2%	37.9%	15.4%	10.6%	11.8%	
13	この社会や世界のことに関心を持つようになったようだ。						
		3年	33.3%	53.3%	6.7%	6.7%	0.0%
		2年	40.0%	35.0%	10.0%	15.0%	0.0%
		1年	53.6%	28.6%	10.7%	3.6%	3.6%
	計	42.3%	39.0%	9.1%	8.4%	1.2%	

14	先生は熱心に授業に取り組み、よく指導してくれているようだ。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%
		2年	60.0%	30.0%	5.0%	0.0%	5.0%
		1年	46.4%	42.9%	3.6%	3.6%	3.6%
		計	48.8%	39.8%	7.3%	1.2%	2.9%
15	先生は、生徒の悩みや思いを受け止め、適切なアドバイスをしてくれる		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	20.0%	60.0%	6.7%	0.0%	13.3%
		2年	55.0%	40.0%	0.0%	0.0%	5.0%
		1年	28.6%	25.0%	10.7%	3.6%	32.1%
		計	34.5%	41.7%	5.8%	1.2%	16.8%
16	保護者として、担任をはじめとして教職員に相談がしやすい。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%	0.0%
		2年	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		1年	17.9%	53.6%	17.9%	7.1%	3.6%
		計	38.7%	47.3%	10.4%	2.4%	1.2%
17	担任は、生徒の個性や資質を踏まえて、適切な指導をしている。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	33.3%	53.3%	6.7%	0.0%	6.7%
		2年	60.0%	35.0%	0.0%	0.0%	5.0%
		1年	18.5%	40.7%	11.1%	7.4%	22.2%
		計	37.3%	43.0%	5.9%	2.5%	11.3%
18	以前と比べると、子どもの学習意欲が高まり学力が向上している。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%	0.0%
		2年	31.6%	42.1%	26.3%	0.0%	0.0%
		1年	35.7%	32.1%	28.6%	3.6%	0.0%
		計	33.5%	42.5%	22.7%	1.2%	0.0%
19	子どもの素質や希望を受け止め、適切な進路指導がなされている。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	26.7%	46.7%	26.7%	0.0%	0.0%
		2年	35.0%	45.0%	5.0%	5.0%	10.0%
		1年	17.9%	39.3%	17.9%	7.1%	17.9%
		計	26.5%	43.7%	16.5%	4.0%	9.3%
20	卒業生の進路状況や進路実績を評価している。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%	0.0%
		2年	65.0%	25.0%	10.0%	0.0%	0.0%
		1年	35.7%	50.0%	7.1%	3.6%	3.6%
		計	46.9%	42.8%	7.9%	1.2%	1.2%
21	学校行事・課外活動は充実していると思う。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	26.7%	46.7%	26.7%	0.0%	0.0%
		2年	35.0%	40.0%	10.0%	0.0%	15.0%
		1年	10.7%	53.6%	25.0%	7.1%	3.6%
		計	24.1%	46.7%	20.6%	2.4%	6.2%
22	学校行事・課外活動を通してさまざまな経験をしているようだ。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	33.3%	40.0%	26.7%	0.0%	0.0%
		2年	40.0%	35.0%	10.0%	0.0%	15.0%
		1年	11.1%	63.0%	22.2%	3.7%	0.0%
		計	28.1%	46.0%	19.6%	1.2%	5.0%
23	子どもは学校へ行くのが楽しいようだ。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	46.7%	40.0%	6.7%	6.7%	0.0%
		2年	60.0%	20.0%	10.0%	5.0%	5.0%
		1年	53.6%	28.6%	7.1%	7.1%	3.6%
		計	53.4%	29.5%	7.9%	6.3%	2.9%
24	KIHSでは、良い交友関係が築かれているようだ。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%
		2年	60.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%
		1年	35.7%	35.7%	10.7%	10.7%	7.1%
		計	45.2%	34.1%	11.3%	3.6%	5.7%
25	個人情報やプライバシーが守られ、人権が尊重されている。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	26.7%	73.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		2年	65.0%	25.0%	0.0%	0.0%	10.0%
		1年	17.9%	42.9%	7.1%	3.6%	28.6%
		計	36.5%	47.1%	2.4%	1.2%	12.9%
26	教職員から家庭への事務連絡はきめ細かく行われている。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	33.3%	46.7%	13.3%	0.0%	6.7%
		2年	68.4%	26.3%	0.0%	0.0%	5.3%
		1年	21.4%	50.0%	17.9%	3.6%	7.1%
		計	41.1%	41.0%	10.4%	1.2%	6.4%
27	学費・奨学金など、事務局の職員は、適切に対応している。		よく あてはまる	やや あてはまる	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない	わからない (判断できない)
		3年	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		2年	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		1年	60.7%	32.1%	0.0%	0.0%	7.1%
		計	67.5%	30.2%	0.0%	0.0%	2.4%